

②学習課題（中学校2年生）

【数学】

<内容>

連立方程式を解く方法を考えよう③

～加減法とは異なる方法を考えてみよう～

<取り組み方>

- ① 教科書 P46 の 5 の連立方程式を、加減法で解いてみよう。
- ② ①の加減法とは異なる解き方を考えてみよう。「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。（家の人に説明してもよい。）
- ③ 教科書 P50 の例 4 を 2 つの方法で解いてみよう。また、どちらの方法で解いた方が楽に解けるか、自分の考えを「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。
- ④ 教科書 P51 の問 6 を代入法で解いてみよう。また、P51 の問 7 を適当な方法で解いてみよう。

見通しをもって効率よく解く方法を選択できると、連立方程式が解きやすくなるよ。

<学習のヒント>

- ① 加減法とは、どちらかの文字の係数の絶対値をそろえ、2つの式の左辺どうし、右辺どうしを加えたりひいたりすることによって、その文字を消去する連立方程式の解き方のことです。
- ② 教科書 P50 の Q の美月さんの考えを参考にしよう。
- ③ 加減法と②の美月さんの方法で解いてみよう。②の美月さんの方法を代入法と言います。
どちらで解いても、解は同じです。解きやすい方法はどちらか、また、それはなぜ解きやすいのか考えてみよう。
- ④ 教科書 P51 の問 6 の (3) は、上の式を下の式に代入すると、 $7x - 2 = 4x + 1$ になるね。(4) は、加減法で解きたくなる形だけど、係数の絶対値が 1 の場合は、 $x = \bigcirc$ や、 $y = \bigcirc$ のように式変形をして、代入法で解いても簡単に解けるね。
教科書 P51 の問 7 は、加減法、代入法のどちらで解いても解は同じです。自分が解きやすい方法で解いてみよう。